

事例2
○○組(1・2歳児)

平成〇〇年度 年間指導計画

| 園長 | 主任 | 担任 |
|------------------|---|--|
| | | |
| 年間目標 | ・安心出来る保育者と関係を築きながら生活や遊びをする ・探索活動を通して聞く、見る、触れるなど人や周りのものへの関心をもち関わって遊ぶ | |
| 子どもの姿 | ・行動範囲が広がり探索意欲が盛ん・好き、嫌い、抵抗するなど表情表現が豊かになる。周囲のものを試したり、2、3人で遊ぶ姿も見られる。 | 一年間の発達を見通した子どもたちの姿と育てたいことを想定してかく |
| 期 | Ⅰ期(4月～6月) | Ⅱ期(月～ 月) Ⅲ期(月～ 月) Ⅳ期(月～ 月) |
| 内 容 教 育 | <p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい環境に慣れる ・周囲の人や物に関心を示し自分の意思や欲求を身振りなどで伝えようとする ・はう、立つ伝い歩きなど一人遊びや探索活動を楽しむ <p>生命の保持 情緒の安定</p> <p>応答的なやりとりの中で自分の思いを保育者に伝えようとする</p> <p>個々の生活リズムを大切に新しい環境になれる</p> <p>人間関係</p> <p>保育者と一緒にわらべうた遊びを楽しむ</p> <p>環境 境</p> <p>引っ張る、落とす、へれるなど指を使った遊びを楽しむ</p> <p>言 葉 表 現</p> <p>散歩を楽しむ</p> <p>自分の要求を言葉やしぐさで表し受け止めてもらう</p> <p>食 育</p> <p>絵本を読んでもらい、真似したり、繰り返したりして楽しむ</p> <p>環境構成</p> <p>手つかみや、スプーンを使って自ら食べようとする様な食材を試し、好きな物や嫌いな物を示す。</p> <p>園庭ブランコ・ジャンピング・階段・砂場・ボタンはめ、お手だま、布、オルゴール</p> <p>保育士の援助と配慮</p> <p>自分の遊びが生まれ、大きく多様な動きを引き出せるようにする。室内は、見立てやごっこ、手先を動かす素材を用意する</p> <p>健康及び安全</p> <p>朝の視診、平熱の把握、感染症の把握食事の対応</p> <p>保護者に対する支援</p> <p>新入園の保護者には日々の様子を細かに伝え連携する。6月保育面談</p> <p>【例】保育のふりかえり</p> | <p>「ねらい」をふまえて、子どもの発達過程を見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮し、それぞれの時期にふさわしい活動を子どもが経験できるよう保育者が意図する内容について記載。 (「養護」の観点を視野に入れながら保育が展開されるように記載)</p> <p>「ねらい」や「内容」に添つて、自発的、意欲的な活動となるよう、人的、物的、自然事象、時間、空間等を考慮する。</p> <p>子どもの活動が「ねらい」や「内容」の示す方向に向かつて展開できるような援助と配慮を具体的に記載する。</p> <p>「子どもの育ちを捉える観点」と「自らの保育を捉える観点」の2つの視点から考察する箇所として、園の実態に即して自由に設定</p> <p>※実際の様式:A3</p> |